



<2月号>

# 朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和3年2月1日発行

〒351-0023  
朝霞市溝沼 1043-1  
TEL 048(464)7575  
FAX 048(460)2280

## 動きをとめないで

校長 杉山 巖

年末から年始にかけて新型コロナウイルス感染者が拡大し、始業式直後の**1月7日**、1都3県に**緊急事態宣言**が出されました。外出の自粛や飲食店の営業時間の制限、出勤者数を削減など、**私たちの生活**は今まで以上に**制限を受ける**ようになり、その制限のもと生活しています。

**学校は教育活動を続ける**とされましたが、**土日については**、集まりをなるべく控えるとして**部活動を原則中止**とし、また本校では**登校時の健康観察チェック**の徹底を図るため、部活動の朝練を中止として生活してきました。

そして、日本中の多くの人がいちいちいろいろなことを控え、その甲斐あってか感染者の数は少しずつ減ってきているようで、**朝霞市についても1月上旬、中旬**の感染者の数が毎日二桁、**多い日は33人**という日もありましたが、**下旬には**、一日数人というところに**落ち着いて**きているようです。

新型コロナウイルスへの感染は、いつだれが感染してもおかしくない状況ですが、そこから**感染を拡大させないこと**、万が一感染があったとしても、そこから、**濃厚接触者をできる限り出さないようにすることが大事**だと思います。

学校では、**マスクの着用の励行、3密の防止、適切な換気、手洗いの励行等の感染症対策を実施**しながら、**教育活動を継続**してまいります。

さて、**年末年始**にある新聞で『SDGs』「エス・ディー・ジーズ」の特集が組まれていました。

サステイナブル・デベロップメント・ゴールズの頭文字等を取って『SDGs』、訳すと『**持続可能な開発目標**』だそうです。このところ、取り組みが紹介されたり、今回のように特集が組まれたり、あるいは学校でも取り上げて学習したかもしれません。

『SDGs』は、世界を良くするために、良い未来を作るために、17の領域に分けた世界の課題について、それぞれ解決していくためにみんなで取り組んでいく、2015年に国連で採択した「**2030年までの達成を目指す17の目標**」です。

例えば、石油エネルギーは取り尽くしてしまえば必ずなくなる時がくる、これでは持続可能とはいえないでしょう。エネルギーに関しては、「**全ての人が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう**」と言う目標を立てて、実行していこうというものです。

**誰が実行するか**というと、「国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めた**全ての人**が、**それぞれの立場から**目標達成のために行動しましょう」とされています。17の領域をあげてみると、**貧困、飢餓、健康と福祉、教育、男女平等、水とトイレ、エネルギー、経済、災害に強いインフラ、不平等、居住環境、生産と消費、気候変動、海洋資源、陸上の生態系、平和的な社会、世界中の協力など**、あらゆる分野になっています。

**目の前の新型コロナへの対策**ももちろん大事ですが、**それだけではなく**、世の中は**未来に向けても動きを止めないで**います。先を見通して、**並行して動いて**います。

皆さんも**コロナ禍が去った後**、どのような世界を作っていくか、もっと身近で言えば**どのような自分を作っていくか**、**コロナ後のことも視野に入れて**、この**年度末を大切に**してください。